

キャリアNews No.24

個人の生き方・働き方が多様化する中で、組合員のなかには自身のキャリアで悩んでいる方もいます。もし相談があった時、私たち労働組合の執行委員はどのように対応したらいいのでしょうか。この「キャリアNews」では相談事例をもとにどのように支援すればいいのか、経験豊富なキャリアカウンセラーがアドバイスします。



相談事例 Xさん 30代 15年目 生産管理職

40歳近くになるのですが、昇進が同期に比べ遅かったため、この会社で勤め続けられるか危機感を覚えています。職場は地元から遠く離れた都市にあり、何となくこの町の雰囲気になじめずらいと思っていたのですが、年齢を考えるといまさら地元に戻るのも難しいと思っています。

～入社後15年目のXさんは、同期と比べて昇進が遅かったことや、職場環境、年齢などにより、

今後の自分のキャリアについて悩んでいるようです。～



キャリアカウンセラーとしての対応



問いかける

そこで、今までの仕事の内容や、今回相談しようと思ったきっかけを尋ねると、Xさんは、仕事に対する思いや将来に対する悩みを語ってくれました。

Xさんの思い



- ・60歳定年以降も今の会社に勤めるつもりでいたが、先日、管理職になれず早期退職制度を利用して転職した職場の先輩の話聞いて、自分の将来に不安を持った。
- ・担当の生産管理業務は、今後はAI/システム化による変革(DX)が期待される領域であるが、システムに弱い自分が今後この分野で活躍するイメージが描けない。
- ・最近自宅の購入検討を始め、自分の経験を生かせる仕事を地元で探すことも考えたが、40歳近い年齢がネックになって難しそうだ。
- ・将来のことを考えると、今から何か資格を取得した方が良いだろうか？



傾聴する

同期と比べて昇進が遅いと感じているXさんは、早期退職した先輩の話聞いて、これからの自分キャリア(働き方)に悩んでいるように見受けられました。

一緒に考える

その話を伺ったキャリアカウンセラーは、Xさんの仕事に対する思いや、将来に対する不安を受容、共感しつつ、Xさんの今後のキャリア(自分らしい生き方・働き方)について一緒に整理しながら考えていきました。

その中でキャリアカウンセラーは、

一般的に40歳代は「人生の過渡期や節目」といわれ、定年後も見据えたこれからの人生(働き方、生き方)を考える時期である、との事を伝えた上で、

Xさんと対話しながら、Xさんの価値観(大切にしていること、やりがい)、今後やりたい事【WILL】や、自分の強みや持ち味(経験・スキル)【CAN】、組織からの役割期待【MUST】などを一緒に整理し、今後のありたい働き方(キャリア・ビジョン)をXさんと一緒に考えていきました。

キャリアカウンセラーとしての対応



• WILLの整理

仕事を通じて実現したことは。
どんなことにやりがいを感じるか。
5年後にどうなっていたいか。
管理職をめざしたいか、専門職として働きたいか(その理由も含めて)。

• MUSTの整理

会社から期待されていることは。
プライベート(家庭)で優先したいことは。

• CANの整理

何が得意で、強みか。
WILLを実現する為に、今出来ていること、
今後挑戦したいことは。

気づきを与え、語らせる

その結果、面談の最後にXさんから下記のような話がありました。

Xさんからのお話



- キャリアカウンセラーと話をして、今までもやもやしていた気持ちの整理が少し進みました。
- 今までには自分の経験を振り返ったり、やりたいことを考えたりするなどの機会がなかったので、まずは過去の経験の棚卸をしながら、自分のやりたいことを整理したいと思います。
- 同期と比較するより、自分がどうありたいかを考えることが大切だと気づきました。



キャリアカウンセラーの役割

キャリアカウンセラーは、相談者が自分のキャリア(働き方、生き方)を考えるお手伝い役です。

今回は本人の悩みや希望を受容・共感しつつ、自分の今後のキャリアについて悩んでいたXさんに対して、「第三者」の視点での助言や情報提供等の支援を通じて、Xさんに寄り添ってキャリア不安の解消に努めました。

このように、相談のきっかけや悩みの内容を尋ねながら(問いかけ)、本人の話(悩み・大切にしたい事…)を良く聴き(傾聴)、ときには第三者の視点にたった情報提供等をしながら、本人にとって望ましい今後のキャリアについて一緒に考え(対話)、相談者のキャリア・プラン作りを支援する(気づきを与える)のが、キャリアカウンセラーの役割といえます。



三田勝彦 先生

情報通信システムメーカーに35年勤務しシステム営業や販売促進業務に従事。

キャリアコンサルタント資格取得後は東京商工会議所にて、従業員のキャリア形成を支援する「セルフキャリアドック制度」の普及を担当し、1000名以上の経営者や従業員向けのセミナー講師やキャリアカウンセリングの経験を持つ。

現在はカウンセリングを通じた働く人の就職・転職・キャリア支援と、企業内キャリア開発セミナー講師として活動中。

■キャリアNEWSの最終号に寄せて

私は、2019年6月より電機連合キャリアデザインセンターで組合員の方からの電話キャリア相談と、労働組合執行役員の方向けキャリア相談事例「キャリアNEWS」の執筆を担当させて頂きました。

特に「キャリアNEWS」は、キャリアに関する話題を相談者の属性(年齢、職歴、職種、家庭環境など)とテーマ(今の自分、仕事、家庭、将来のキャリア…)を組み合わせたキャリア相談事例です。

この事例が、組合員のキャリア(働き方、生き方)に関する相談対応を第一線でされている、労働組合の役員・職場委員や、キャリアについて不安や悩みをお持ちの組合員の皆様のお役に立てば、執筆者として大変嬉しいです。

長い間ご購入頂きありがとうございました。

三田勝彦

第70回定期大会で決定しました通り、電機連合キャリアデザインセンターの運営は2022年12月末をもって終了します。

キャリアニュースのバックナンバーは電機連合公式HP(<https://www.jeiu.or.jp/wlb/jitsugen/cat1/>)に掲載しています。